

第4回当別町総合計画審議会要旨

- 1 日 時 令和2年2月5日(水) 14時00分から16時00分
- 2 場 所 当別町役場第2庁舎 2階会議室
- 3 出席委員 別添名簿のとおり
- 4 町出席者 事務局：江口部長、長谷川課長、石原係長、井田主任、寺田主任
- 5 傍聴者 2名
- 6 審議会要旨

(1) 会長挨拶

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。第4回の総合計画審議会では、パブリックコメントの結果といただいた意見に加えて、審議会委員の皆様、町議会議員の皆様からいただいたご意見についての回答を事務局から報告していただき、そのご意見を反映した新しい総合計画の最終案について議論を進めていくこととなります。よろしくお願いいたします。

(2) 議題

① 新しい当別町総合計画(案)に対するパブリックコメント等結果について

資料1に基づき、長谷川課長より説明。

(宮永委員)

パブリックコメントについて、具体的にどのような形で周知したのでしょうか。

(事務局)

広報12月号で周知したことに加えて、ホームページのトップページに掲載し、周知を行いました。また、町民の皆様が普段から利用される施設に投函箱と総合計画の冊子を、目につくように配置しました。冊子についても、何冊か配置することで、持ち帰ることができるようにしました。

(宮永委員)

本当に町民の方から意見を聴取しようというのであれば、違う形での周知が必要だったのではないのでしょうか。意見が少ないため、あまり関心がなかったのかと感じてしまいました。もう少し周知の方法を考えていただきたい。

(黒澤会長)

前回、泉亭委員から期間が短いと指摘があったかと思います。事務局として意見の件数について、どのようにお考えでしょうか。

(事務局)

第5次総合計画のパブリックコメントを行った際は、意見が10件程度しかありませんでした。比較してしまうと意見は増えたと思えますが、宮永委員のご指摘を踏まえまして、どのようにすれば町民の皆様へ周知することができる

のか考えていかなければいけないと思いました。

(宮永委員)

例えば、広報誌とは別に1枚ものでチラシをいれる方が目に留まりやすいかと思
います。今後パブリックコメントを行う際は、工夫していただければと思います。

(黒澤会長)

将来に向けて、パブリックコメントを行う際は、たくさんの町民の方が参加でき
るような形で行うことができるよう考えていただければと思います。

(泉亭委員)

町議会議員に対する意見結果の9番ですが、福祉除雪の間口除雪の幅をもっと広
げて欲しいといった趣旨の質問なのではないかと思ます。間口の除雪が狭いがた
めに車が入ることができず、デイサービス等を利用する際にとても不便な状況です。
もっと除雪の幅を広げたい時は、本人でどうにかしなさいというのが現在の町の考
え方であるため、そういったことを含めて考え方をまとめていただきたい。

(事務局)

「栗山町等を参考にし」という意見であるため、記載してあるような考え方とし
てまとめておりました。泉亭委員がおっしゃったように、そもそもの間口除雪につ
いての対策について解決策を見いだせるように努めますといった内容に修正いたし
ます。

(宮永委員)

パブリックコメントに対する意見結果の9番で、「どこで行われているかわからな
い」といった意見がありますが、各事業について問い合わせできるように、担当部
署を記載した方がいいのではないのでしょうか。

(事務局)

部署の名称変更や業務の配置換えが頻繁にあるため、明示しない方がいいかと考
えておりますのでご理解いただければと思います。担当部署については、ホームペ
ージにて最新の情報を公開しておりますので、そちらを確認していただきたい。

(黒澤会長)

外から見たときに、どの部署がどのような仕事をしているのかわかるようにする
ことは大事だと思います。総合計画に記載することは難しいかもしれませんが、例
えば、ここに連絡すれば必ず担当の部署へ案内してくれるなどの方法を検討してい
ただければと思います。

(事務局)

総合計画に関する問い合わせは企画課が承ることとし、企画課の電話番号等を記
載いたします。

② 新しい当別町総合計画（最終案）について

資料2に基づき、長谷川課長より説明

（泉亭委員）

当別町の第3期地域福祉計画の中に、ワンストップ型の相談体制の強化を謳っております。25ページの「① 地域住民が共に生きる社会・共に支えあうネットワークづくり」に、そういった内容を追加していただきたい。

（事務局）

26ページの「② 利用者の視点に立った福祉サービスの推進」に記載しております。「① 地域住民が共に生きる社会・共に支えあうネットワークづくり」の方でも意識すべきだということで、どちらにも記載するといった整理でよろしいでしょうか。

（泉亭委員）

よろしくをお願いします。

（後藤委員）

44ページの「新しいまちの顔づくりプロジェクト」の今後の事業展開の中に、「新駅の構築」という文言がありますが、全体を通して新駅の構築にかかわることはこの1文しかないかと思えます。2000年あたりのことになりますが、太美地区の開発は成功したとはいえ、財政を圧迫したという事実もあります。新駅の構築は重要なことであり、記載するのであれば、なぜ必要なかを記載し、基本構想編でも触れる必要があるのではないかと思います。可能であるならば、新駅の構築という文言ではなく、「道の駅周辺の開発促進等」に変更した方がいいのではないかと思います。

（事務局）

基本構想編の12ページの関連する施策に「新しいまちの顔づくり」とあり、それを受けてのプロジェクトとしております。事務局としては、駅がない中での新しい市街地形成はなかなか難しいと考えております。どこに作るかは検討が必要ですが、もう1つ人を呼び込む場所を造りたいと考えております。事務局としては、事業展開の表現をそのままにし、それを説明する部分を付記していく方向で修正したいと考えます。

（後藤委員）

今おっしゃったことは、基本構想編に記載しなければ成り立たないことかと思えます。移住促進や公共交通にもかかわってくる大きな事業であり、それを今から記載し直すくらいならば、新駅の構築という文言は削除し、駅周辺の開発促進であり、ゆくゆくは新駅を構築していくといった流れの方が私はよいかと思えます。

(宮永委員)

私も同じ意見です。32ページの「移住・定住の促進」でも、移住してきた人達にどこに住んでもらうかが全く記載されていない。ここで触れているのであれば、記載したままでいいかと思います。今までの議論の中で、石狩当別駅と石狩太美駅周辺の現在ある市街地を広げていって、つながるようになった間に駅が必要だという話ならわかります。基本構想編で新駅について触れていない中で、唐突に話が出てきても理解することができない。また、総合計画が10年、総合戦略が5年の期限であるが、残りの5年が見えていない状況で、整合性がとれていないのではないかと思います。基本構想編と総合戦略編のすり合わせが必要かと思います。

(泉亭委員)

45ページの「駅周辺再開発プロジェクト」の位置づけはどうなんでしょうか。KPIに集合住宅を150戸整備するとありますが、あちこちに集合住宅ができるのであれば、集約したことにはならないのではないのでしょうか。そのあたりを整理しないと、まとまりのない計画になってしまうかと思います。

(高橋委員)

都市計画審議会でコンパクトシティを推進しているがうまくいっていない状況で、3つ目の駅というのは、まとまりがないかと思います。後藤委員の意見のとおり、道の駅周辺の開発促進の方が整合性がとれるかと思います。

(事務局)

まず、当別町第5次総合計画と第1期の総合戦略の改定時期が同じであったため、同時に策定作業を進めているところでもあります。総合戦略については、今後も続いていくものでありますので、前期・後期として改定することになります。総合戦略編について、言葉足らずな部分はあろうかと思いますが、基本構想編に即した形で策定作業を進めてきたところではございます。ただ、基本構想編に新駅の構築についての記載がないのではないかというご意見は、そのとおりだと思います。例えば、基本構想編の住環境の整備や公共交通の整備、観光などの部分にも記載し、44ページの「新しいまちの顔づくりプロジェクト」には、なぜ新駅の構築が必要なのか説明する文章が必要だと思いました。また、新駅を構築するエリアについては、完全に独立した場所ではなく、既存の市街地からインフラを延長させるような形を想定しております。また、総合戦略に記載していないと、地方創生交付金などの国からの支援を受けることができません。それこそ事務方としては、なにをやっていたんだという話になってしまいます。総じて「新しいまちの顔づくりプロジェクト」は、これから新しいことにチャレンジしてまいりますといったプロジェクトです。具体的な構想があるわけではないため、今後事業が進展していく中で、しっかりとした計画を立てて、皆様にお示ししながら推進していくことになるかと思います。「駅周辺の再開発プロジェクト」との整合性については、すでにある石狩当別駅と石狩

太美駅について、立地適正化計画を定めマネジメントしていくことと整理しておりますので、ご理解いただければと思います。

(宮永委員)

今お聞きしたことは、基本構想編のどの部分に記載されているのでしょうか。

(事務局)

これは基本構想編には記載されておりません。なので、住環境、公共交通、観光の分野に記載いたします。

(後藤委員)

いざ事業を進めていこうとなった時に、この文言だけでは交付金を受けることはできないと思いますし、5年で駅は建たないと思うので、10年の計画である基本構想編に記載する必要があると思います。しかし、今からそういったことを記載するということになるのであれば、パブリックコメントをした意味がなくなってしまう。それならば、「新駅の構築」という文言を消して、つじつまを合わせればよいかと思います。

(宮永委員)

あの辺りは農地だと思いますので、川村委員はどのように考えますか。

(川村委員)

基本構想編と総合戦略編の整合性が取れていないということであるならば、しっかりと記載が必要になると思います。農地の転用など整理しなければいけないことはあるかと思いますが、農地が施策の推進を邪魔していると思われたくはありません。

(事務局)

当別町は人口減少問題が大きな課題となっており、役場内で研究や分析を進めております。人口減少対策は2つの視点があり、1つは、人口が減少していく中で、まちを住みやすい状態に維持していくことが必要となります。行政サービスが受け取りにくい状況を受け取りやすい状況にシフトしていくこと、これが立地適正化計画にあるコンパクトシティという考えになります。コンパクトにしていくのではなく、生活しやすさを高めていくという考えです。もう1つは、人口を増やすために、受け皿となる場所を用意しなければいけません。その受け皿となる場所を確保するための1つのツールとして、交通の起点となる新駅を記載したいと考えております。これを基本構想編で触れた上で、総合戦略編で具体化していく必要があったと思っております。なるべく財源負担を伴わないようにするため、交付金や民間資金を活用し、人口減少対策を行っていききたいというまちの意思表示として、新駅は記載したいと考えます。新駅という文言がある状態でパブリックコメントを行っているため、今皆様に説明してきたことを記載することで、対応させていただければと思います。

(黒澤会長)

新駅について、唐突に出てきたという意見がありますが、今からその文言を消してしまうと、パブリックコメントで案を見た方々は疑問に感じると思います。ここに関しては、きちんと説明できるような整理をしていただき、改めて委員の皆様にご理解いただくという形になるかと思えます。

(宮永委員)

基本構想編に記載するということがよろしいでしょうか。

(事務局)

基本構想編に記載することが、適切だと思います。

③ 新しい当別町総合計画（素案）に対する答申について

資料3に基づき、長谷川課長より説明。

(宮永委員)

役場に勤める職員は、第5次総合計画を持っているのでしょうか。

(事務局)

職員研修の際に配布しております。

(川村委員)

まずは黒澤会長に素案を作成していただき、それを委員で確認するという形で行いたい。

(黒澤会長)

素案を作成し、次回の審議会でご確認いただく形にいたします。

(3) その他

① 新しい当別町総合計画の名称について

参考資料に基づき、長谷川課長より説明。

(泉亭委員)

別な名称に変える必要はないと思います。当別町第6次総合計画でよろしいかと思えます。

(川村委員)

特別な提案はございません。

(黒澤会長)

何か提案があれば、今週中に事務局に連絡することいたします。

②その他

先ほど審議していただいた中で修正する部分が出てきましたので、修正案を次回の審議会までにお示しいたします。修正案にご意見がありましたら、再度ご連絡ください。その上で、最終案をお示ししたいと思います。

【当日の様子】

